



新年のご挨拶

漁業者および水産関係者の皆様、新年あけましておめでとうございます。大晦日から降り出した雪で、福井市では久しぶりに清々しい元旦の朝を迎えることができました。

昨年は、福井豪雨、美浜原発蒸気噴出事故、相次ぐ台風の上陸など、「災」で終始した年でした。酉年の今年も、歴史的にも転換の年と言われているので、すべてが良い方向に転換して行って欲しいものです。

さて、県民に向けた年頭の挨拶の中で、知事は、「福井元気宣言」に基づく各施策を引き続き強力に実行し、豊かさを実感できるよう施策の成果をしっかりと根付かせる年にしたい、また、産業の一層の進展に全力で取り組み、地域のブランドを積極的にPRしていくとともに「健康長寿」をキーワードに「ふくいブランド」創造の戦略を強力に展開していきたい、と述べています。

そこで、水産物の「ふくいブランド」について考えてみますと、第一には、認知度も全国レベルで県のさかなにも指定されている「越前がに」が挙げられます。続いて、関西方面では良く知られている「若狭がれい」、昨年の台風で被害を受けた「若狭ふぐ」、近年漁獲量が減っている「越前うに」といったところでしょうか。また、内水面では、九頭竜川水系を始めとした「あゆ」、今では希少となった「あられがこ」が「ふくいブランド」と言えるでしょう。

こうして見ると、「ふくいブランド」として数百トン以上の漁獲量が確保できるものは、「越前がに」、「若狭ふぐ」、「あゆ」くらいしかありません。そこで、我々試験研究に携わるものは、これらの魚種の増産に繋がる研究をより一層全力で取り組むことはもちろんのこと、新たなブランド水産物の開発、研究に努力しなければなりません。

そのために、新たな魚種の選定とブランド化に向けた戦略の策定、実践が必要です。水産物は食べ物ですから、ブランド品になるためにはおいしくかつ安全なことが最低限必要です。このためには、漁業者の皆様が、自分が漁獲あるいは生産しているこれは絶対おいしい、また、食品として絶対に安全であるといった自信を持つことが大切です。さらに、その魚で「ふくいの豊かさ」が伝わることもブランド品としては必要なのではないのでしょうか。

ということで、現場にいらっしゃる漁業者および関係者の皆様の御意見、御助言をお願いします。小浜の醤油漬の一夜干しなど、まだまだ、隠れている「うまいもの」はあると思います。「わしが生産しているこれは「ふくいのブランド」としてどうじゃい。」と試験場に自慢あるいは相談してください。一緒にブランド化戦略について考えましょう。

こんなことを正月休みの寝床の中で考えながら、今年も新年を迎えることができた喜びとともに、まずは、めでたさも中ぐらいの正月でした。

転換の今年こそは、近年の漁業不振を打破し、不死鳥のように大きく飛翔して吉祥に向かって行く年となりますよう、心からお祈り申し上げ年頭の挨拶と致します。

(福井県水産試験場長 若林 健一)

〔漁の様相〕

2004年12月の県内の総水揚量は855tで、2003年同月を113t上回った。カタクチイワシ（2004年;0t, 2003年;11t）、カツオ類(4t, 26t)、ブリ類（44t, 128t）、ヒラマサ(2t, 20t)等は下回ったものの、アジ類(74t, 45t)、サワラ(41t, 13t)、マダイ(16t, 6t)、キダイ(28t, 14t)、アカガレイ(91t, 38t)、スルメイカ(171t, 142t)等は上回った。

漁業種類別の状況

定置網 ……アジ類、サワラ等は上回ったものの、カタクチイワシ、カツオ類、ブリ類[ハマチ・ツバス銘柄主体]、ヒラマサ等は下回り、全体で39t下回った。

底びき網 ……セイコガニ、水ガニ等は下回ったものの、キダイ、アカガレイ、アカエビ等は上回り、全体で111t上回った。

釣り・他 ……ブリ類 [ハマチ、ツバス銘柄主体]、ケンサキイカ等は下回ったものの、マダイ、アマダイ、ヒラメ、スルメイカ [船凍イカ主体]、ソデイカ等は上回り、全体で42t上回った。

〔県内主要漁業の12月の漁獲量〕

(調査対象市場：三国・越廼・敦賀・早瀬・小浜の各漁連支所、福井市・越前町・若狭高浜の各漁協)

(単位:kg)

定置網			
魚種	2004年	2003年	94-03平均
カタクチイワシ	93	11,020	17,152
アジ類	73,215	44,379	57,520
サバ類	84	1,199	1,997
マグロ類	2,316	122	2,662
カツオ類	3,587	25,494	47,337
ブリ類	39,219	97,121	138,991
ヒラマサ	1,624	20,034	8,154
サワラ	40,792	13,000	22,191
サケ、マス	584	121	191
マダイ	4,515	2,283	6,447
スズキ	12,439	7,511	8,152
ヒラメ	2,284	2,594	3,224
カマス	4,144	6,973	5,897
フグ類	593	161	1,621
アオリイカ	5,470	5,775	9,536
ソデイカ	19,385	14,868	33,990
その他	28,594	25,698	72,795
合計	238,939	278,352	437,855

底びき網(つづき)			
魚種	2004年	2003年	94-03平均
ズワイガニ	42,996	41,442	39,637
セイコガニ	19,846	22,365	19,823
水ガニ	20,605	27,980	37,450
アカエビ	22,434	11,562	13,667
その他エビ	6,343	3,822	8,881
その他	47,739	29,410	60,324
合計	325,933	215,181	317,855

釣り、延縄、さし網、その他			
魚種	2004年	2003年	94-03平均
アジ類	155	339	255
マグロ類	125	55	348
ブリ類	5,240	31,296	7,494
ヒラマサ	5	197	235
マダイ	6,669	3,315	5,525
キダイ	2,094	2,279	2,044
アマダイ	17,594	7,575	11,357
スズキ	293	457	752
ヒラメ	2,805	777	2,809
アナゴ	700	189	1,525
メバル類	2,121	919	1,518
スルメイカ	170,787	142,264	228,798
アオリイカ	670	734	1,587
ケンサキイカ	12	1,693	1,266
ヤリイカ	5	378	1,237
ソデイカ	18,218	15,912	16,141
タコ類	12,562	13,157	14,136
その他	50,461	27,014	53,215
合計	290,515	248,550	350,244

底びき網			
魚種	2004年	2003年	94-03平均
マダイ	5,098	778	2,840
チダイ	5,065	459	661
キダイ	25,532	12,042	8,052
ヒラメ	1,569	2,594	2,428
アカガレイ	90,972	38,020	79,466
その他カレイ	17,317	12,238	18,188
カマス	3,808	702	3,865
アナゴ	8,736	5,933	8,103
ハタハタ	431	1,764	2,457
キス類	1,163	155	2,444
ヤリイカ	586	1,176	1,411
タコ類	5,695	2,740	8,157

総計	2004年	2003年	94-03平均
	855,387	742,083	1,069,292

〔近府県の漁模様〕

(12月下旬から1月中旬の漁獲状況……1日1隻または1統あたり。京都府の定置網漁獲量は舞鶴漁連への1日あたりの水揚量。)

石川県 …… 定置網 …… ブリ282kg、ソウダガツオ167kg、アジ56kg、ウルメイワシ29kg
 底曳網 …… アカガレイ64kg、ズワイガニ39kg、アンコウ31kg、ニギス30kg
 京都府 …… 定置網 …… マアジ1.9t、ソーダガツオ1.0t、ブリ0.9t、サワラ0.4t
 兵庫県 …… 定置網 …… アジ210kg、ツバス93kg、サワラ48kg、スズキ20kg、ハマチ12kg
 鳥取県 …… まき網 …… マサバ29.8t、マアジ19.7t、ブリ類2.7t、ウルメ1.9t

〔海の状況(12/21~1/20)〕

神子表面水温……天候の影響により変動が大きいものの、期間全体をとおして平年並み(平年より±0.5℃)からはなはだ高め(平年より2℃程度高め)で推移した(図1)。

米ノ表面水温……期間全体をとおして、平年並みからかなり高め(平年より1~1.5℃程度高め)で推移した(図2)。

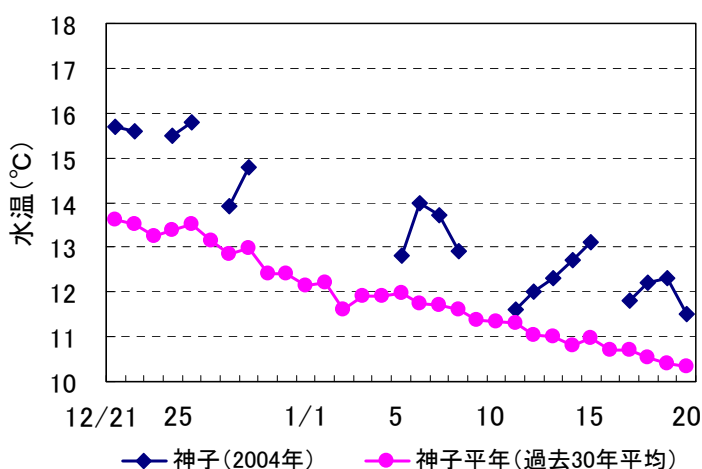


図1 三方町神子地先における表面水温の推移

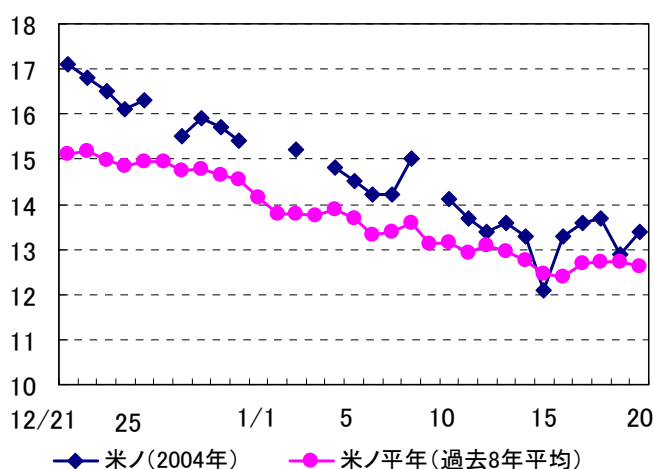


図2 越前町米ノ地先における表面水温の推移

100m深水温……1月は観測がないため休止します。

(松宮 由太佳)

☆ 浜への報告会のお知らせ ☆

「第7回水産の研究成果を浜へ報告する会」を下記のとおり開催いたします。多数の参加をお待ちしています。

- 開催日：平成17年2月23日(水) 13:00~17:00
- 場 所：福井県嶺南振興局敦賀土木事務所3階大会議室
- 主催者：福井県水産関係産学官連絡会議(事務局：福井県水産試験場)
- 対象者：漁業者および漁業に関心のある方
- 目 的：県内の水産試験研究機関が得た成果を漁業者等の皆さんに知らせるとともに、漁業者等からの要望や意見を聞き試験研究に反映する。
- その他：発表内容については県立大学、県栽培漁業センター、県内水面総合センター、県食品加工研究所および県水産試験場で企画しています。(安田 政一)

温排水の拡散調査結果について

2004年の7月～9月の期間に実施した原子力発電所から排出される温排水の拡散状況調査の結果は次のとおりでした。なお、本調査結果は、2005年1月19日に開催された福井県原子力環境安全管理協議会で報告しました。

1) 美浜町：美浜海域 [7月15日 9:58～13:17]

28.0℃以上の陰影域が温排水域と判断され、放水口から北西と南西の方向に拡散していた。
表層の最大到達距離は放水口から約3.0km、表層拡散面積は約4.6km²であった。

2) 敦賀市：浦底海域 [9月6日 9:35～10:46]

27.0℃以上の陰影域が温排水域と判断され、放水口から浦底湾全域さらに湾口から南東の方向に拡散していた。
表層の最大到達距離は放水口から約2.2km、表層拡散面積は約1.4km²であった。

3) 大飯町：大飯海域 [9月22日 9:12～12:15]

26.5℃以上の陰影域が温排水域と判断され、放水口から北の方向に拡散していた。
表層の最大到達距離は放水口から約4.2km、表層拡散面積は約5.6km²であった。

4) 高浜町：内浦海域 [9月24日 8:55～12:58]

26.5℃以上の陰影域が温排水域と判断され、放水口から北に、内浦湾から東西の方向に拡散していた。
表層の最大到達距離は放水口から約7.3km、表層拡散面積は約12.8km²であった。 (安田 政一)

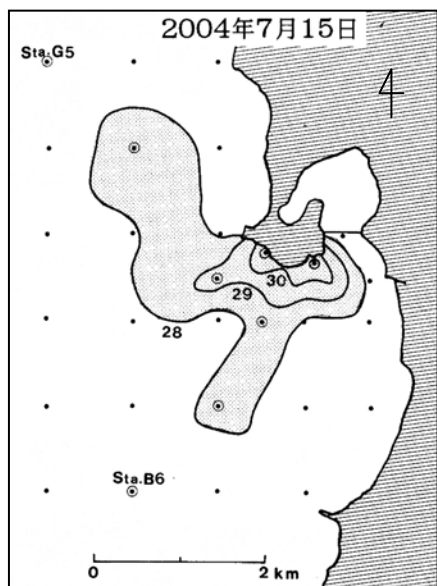


図1 美浜海域における水温水平分布（表層）

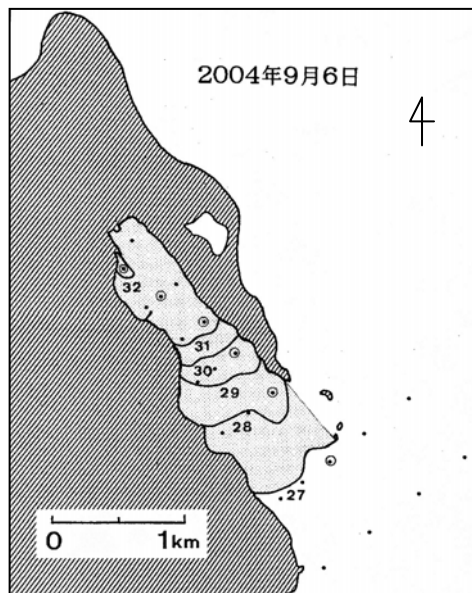


図2 浦底海域における水温水平分布（表層）

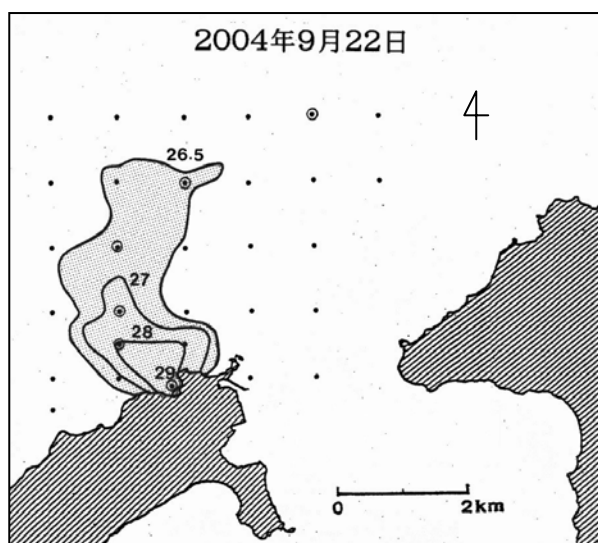


図3 大飯海域における水温水平分布（表層）

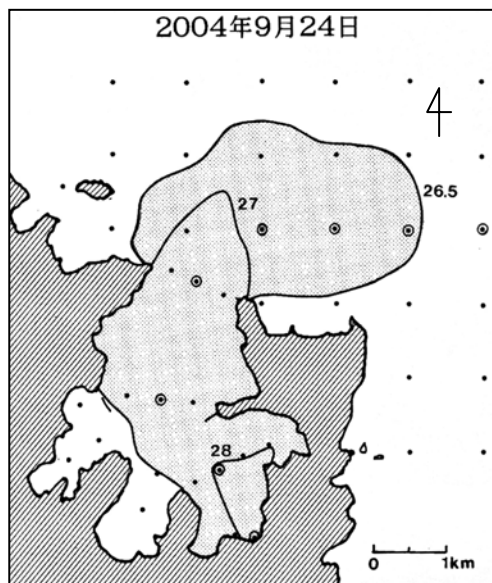


図4 内浦海域における水温水平分布（表層）